

	<p>レイエンデ国物語 <1> 多崎 礼 著</p>	<p>2024年 本屋大賞ノミネート！ 絶賛沸騰の王道ファンタジー！家に縛られてきた貴族の娘・ユリアは、英雄の父と旅に出る。呪われた地・レイエンデで出会ったのは、琥珀の瞳を持つ寡黙な射手・トリスタンだった。</p>
	<p>レイエンデ国物語 <2> 月と太陽 多崎 礼 著</p>	<p>テレビ、書店で話題沸騰！ 名家の少年・ルチアーノは屋敷を何者かに襲撃され、レイエンデ東部の村にたどり着く。そこで怪力無双の少女・テッサと出会った。ルチアーノは身分を捨てて、ここで生きることを決める。しかし、その生活は長く続かなかった。</p>
	<p>レイエンデ国物語 <3> 喝采か沈黙か 多崎 礼 著</p>	<p>運命の幕が上がる。たった一曲が世界を変えた。灯火（はじまり）は、愛を知らない双子だった。果てまで延びる鉄道、焼きはらわれた森林、差別に慣れた人々。母に捨てられた双子が愛を見つけるとき、世界は動く。</p>
	<p>シャーロック・ホームズの凱旋 森見登美彦 著</p>	<p>舞台はヴィクトリア朝京都。 洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが……まさかの大スランプ！？</p>
	<p>ファラオの密室 白川 尚史 著</p>	<p>2024年『このミステリーがすごい！』大賞受賞作 紀元前1300年代後半、古代エジプト。 死んでミイラにされた神官のセティは、欠けた心臓を取り戻すため3日だけ地上に舞い戻る。</p>
	<p>東京都同情塔 九段 理江 著</p>	<p>第170回芥川賞受賞作！ ザハの国立競技場が完成し、寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワーキーヨー」が建てられることに。犯罪者に寛容にならない建築家・牧名沙羅は、仕事と信条の乖離に苦悩しながらパワフルに未来を追求する。</p>
	<p>ともぐい 河崎 秋子 著</p>	<p>第170回直木賞受賞作！ 明治後期の北海道の山で、猟師というより獣そのものの嗅覚で獲物と対峙する男、熊爪。人間、そして獣たちの業と悲哀が心を揺さぶる、河崎流動物文学の最高到達点！！</p>
	<p>八月の御所グラウンド 万城目 学 著</p>	<p>第170回直木賞受賞作！ 死んだはずの名投手とのプレーボール、戦争に断ち切られた青春。京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは―― じんわり優しく、少し切ない青春の、愛しく、ほろ苦い味わいを綴る感動作2篇</p>

	<p style="text-align: center;">スピノザの診察室 夏川 草介 著</p>	<p>2024年 本屋大賞ノミネート！ 現役医師として命と向き合い続けた著者が到達した、「人の幸せ」とは。 ベストセラー『神様のカルテ』シリーズを凌駕する、新たな傑作の誕生！</p>
	<p style="text-align: center;">夜明けのはざま 町田 そのこ 著</p>	<p>『52 ヘルツのクジラたち』の町田その子、新たな代表作！ 死を見つめることで、自分らしく生きることの葛藤と決意を力強く描き出す。</p>
	<p style="text-align: center;">リカバリー・カバヒコ 青山 美智子 著</p>	<p>2024年 本屋大賞ノミネート！ 新築分譲マンション近くの公園にある古びたカバの遊具・カバヒコには、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説がある。人呼んで、「リカバリー・カバヒコ」。アドヴァンス・ヒルに住まう人々は、悩みをカバヒコに打ち明ける。</p>
	<p style="text-align: center;">ブラック・ショーマンと覚醒する女たち 東野圭吾 著</p>	<p>謎に包まれたバー『トラップハンド』のマスターと、彼の華麗なる魔術によって変貌を遂げていく女性たちの物語。</p>
	<p style="text-align: center;">777 トリプルセブン 伊坂 幸太郎 著</p>	<p>そのホテルを訪れたのは、逃走中の不幸な彼女と、不運な殺し屋。そして—— 伊坂幸太郎、2年ぶりの完全書き下ろし。殺し屋シリーズ最新作。</p>
	<p style="text-align: center;">可燃物 米澤 穂信 著</p>	<p>余計なことは喋らない。上司から疎まれる。部下にもよい上司とは思われていないが、捜査能力は卓越している。葛警部だけに見える世界がある。 群馬県警を舞台にしたミステリーシリーズ始動。</p>
	<p style="text-align: center;">歌われなかった海賊へ 逢坂 冬馬 著</p>	<p>1944年、ナチ体制下のドイツ。父を処刑された少年ヴェルナーは、市内に敷設された線路を辿った果てで「究極の悪」を目撃し、とった行動とは…。</p>
	<p style="text-align: center;">成瀬は信じた道をいく 宮島 未奈 著</p>	<p>2024年 本屋大賞受賞作続編 成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。個性豊かな面々が新たに成瀬あかり史に名を刻む中、幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており……!?</p>
	<p style="text-align: center;">柳橋の桜 1～4 佐伯 泰英 著</p>	<p>主人公は江戸・柳橋の船頭の娘・桜子。船頭になることを夢見る桜子の涙あり、恋あり、活劇ありの活躍を描く、待望の時代小説新シリーズ。</p>